

AMED優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 採択
「『解剖』から医療機器開発の創出を支援する国内唯一の拠点」

臨床医学の 献体利用を推進する 専門人材育成プログラム

本プログラムは全てオンデマンドで学習可能です（CST実習は除く）

- 開講期間：R7年 11月～R8年 9月
 - 申込受付：R7年 9月9日～10月27日
 - 募集人員：25名程度
 - 受講料：1単位 14,800円 計 74,000円
- ※北海道大学の大学院生・職員は無料



5科目60時間以上を受講、かつ各科目の試験に合格した受講生には修了を認め履修証明書を交付する。

本プログラムは献体を使用した手術手技研修（Cadaver Surgical Training:CST）や研究開発の実施に必須な関連法規、感染防御、COI・知財マネジメント等を体系的に学ぶことが可能です。本プログラムによって献体を使用した医工連携・産学連携を推進できる人材を養成することで、臨床医学の教育・研究における献体使用の効果を最大限に発揮できる学術環境を確立することを目的とします。

必修 科目	臨床医学・外科解剖セミナー
	死体解剖のガイドラインとCST実施の注意点、臨床研究のデザイン、医学論文の作成法、病理学のエッセンス、動物実験のエッセンス
	臨床解剖概論
	ご遺体の各種保存法、感染防御、カダバーラボの運営、医師・歯科医師以外を対象とした臨床解剖講義（医療機器開発）
	医療機器開発概論
	新規医療機器の開発と知的財産権、非臨床研究の実施と薬事承認、マーケティング
選択 科目	CST実習
	アイデア収集、医療者とのディスカッション
	外科教育概論・教育理論
	国内外の外科教育の現状、外科領域におけるフィードバック・指導法、外科領域における技術の評価法
	外科教育概論・医療機器開発
	手術器械と滅菌・消毒、内視鏡手術の原理、切開・止血の原理、超音波検査装置の原理、血管内治療の原理

受講希望者は下記URLより詳細を確認し、申請書をダウンロードの上、提出してください



提出先・お問い合わせ：北海道大学医学研究院CCRP事務局 事務担当

✉ CERIA@pop.med.hokudai.ac.jp

☎ 011-706-4929（北海道大学病院 先端医療技術教育研究開発センター内）